



やまべ



令和6年
4月9日発行
第1号

令和6年度のスタート

校長 大貫弘敏

現在、少子高齢化、情報化、国際化等子どもたちを取り巻く環境は近年大きく変化しています。日上市も例外ではなく、少子高齢化による人口減少は大きな課題となっています。子どもたちがこれからの変化の激しい社会を力強く生き抜いていくためには、以下の力を身に付けることが重要であると言われています。

『予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を發揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となれる力』

そのために学校では、その力を育むために、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が求められています。

複式学級による教育を実践する山部小学校では、現在に至るまで、複式学級における学年別指導の在り方の研究を進めてまいりました。山部小には、これまでに積み重ねた教育実践により、以下のような強みがあります。

- ・異年齢同士の協力的な態度を養うことができる。
- ・一人一人の存在感や役割がもてることで、リーダー性を育むことができる。
- ・児童自らが学習を進めていく機会が多く、自主的で協働的な学習態度が育まれる。
- ・教師は一人一人の児童に寄り添い丁寧に指導が行える。
- ・児童同士や、児童と教師の関わりが濃く、温かい雰囲気醸成することができる。

また、複式学級の指導方法として、「直接指導」と「間接指導」を行っており、それに伴う「ガイド学習」を大切にしています。この学習は、教師が一方の学年の子どもたちを指導している間、もう一方の学年の子どもたちはガイド役の子どもを中心に協働して自分たちで学習を進め、考えを広げ深めるものです。この「ガイド学習」によって課題に主体的に取り組む子どもたちの姿は、学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」に通じるものであり、複式学級に限らずすべての学級での学習指導のヒントとなるものであります。

今後も、異学年で学ぶことのよさに目を向け、児童一人一人のよさや可能性を理解し、個に応じた指導を通して複式学級指導の充実に努めてまいります。さらに、教職員がチームとして団結し、創意工夫を凝らしながら、子どもたちの成長を育めるよう全身全霊で取り組んで参ります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

4月

主な予定

- 8日(月)着任式 始業式
- 9日(火)入学式、2~6年5時間授業
- 10日(水)クラブ・委員会編成、体位測定
- 11日(火)視力・聴力検査1~4年
- 12日(金)通学班編成、避難訓練
視力・聴力検査5、6年
- 17日(月)1年生給食開始、家庭確認1
- 18日(木)全国学力学習状況調査(6年)
家庭確認2
- 20日(土)PTA総会・全体委員会
授業参観・懇談会・引渡訓練
- 22日(月)振替休業日

- 25日(木)歯科検診
- 30日(火)心臓検診(1年生)

5月

- 1日(水)みどりの少年団結団式
- 2日(木)13:30下校(全職員出張のため)
- 3日(金)から6日(月)休日
- 10日(金)尿検査、新入生おめでとう集会
- 11日(土)PTA奉仕作業
- 13日(月)クラブ
- 22日(水)安全教室・自転車教室
- 25日(土)ふれあい運動会
- 28日(火)創立記念日(150年)

抱負発表

始業式で5年生児童が、抱負を堂々と発表しました。また、元気に校歌を歌い、令和6年度がスタートしました。



元気な歌声「校歌」が体育館に響き渡りました。



今日から、山部っ子

9日の入学式で新入生を迎えました。これで21人の山部っ子でスタートです。



新任の先生方



※ 令和6年度 新任の先生方、職員等の氏名は、削除しています。